

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 宮城県塩竈市  
 本事業の担当部局名 福祉子ども未来部子ども未来課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	思春期保健事業					新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	平成20年度			
総事業費(A)(円)	308,280	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	308,280			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	308,280							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	25,650	194,600	550	86,380	1,100	
	対象経費支出予定額	0	25,650	194,600	550	86,380	1,100	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	0	0	0	0	0	308,280	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	308,280	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通          本市では、令和4年度より開始した第6次長期総合計画において、人口減少を克服し、少子高齢化の進行に歯止めをかけるため、子育て世帯の移住・定住を促進するとともに、子どもを産み育てやすい環境を整え、持続可能なまちを目指すことを基本構想として掲げている。          その実現に向けては、出会いの場の創出を行うほか、結婚・出産時の経済的支援、妊娠期からの伴走型支援体制の整備、子育て世帯の移住促進、子育てを地域全体で行う機運の醸成等に取り組み、若い世代に選ばれるまちづくりを進めている。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;          塩竈市の少子化対策は「長期総合計画」を基本とし、「第2期のびのび塩竈っ子プラン」を策定し、基本目標「地域社会が子どもの育ちと子育てを支えるまち」などを定めている。子どもが健全に育つ環境づくりの一環として、自身の性と生をテーマに、様々な価値観に触れ、認め合い、自己決定の大切さを考えることとしている。          本事業では、思春期の子どもたちに対し、命の尊さや性に関する正しい知識の普及の他、将来の様々なライフイベントに対応できるよう、情報の総合的な習得、多様な生き方について情報交換できるよう実施する。</p>						

番号	項目	内容
1	ライフデザイン講座	<p>仕事・結婚・子育て、ワークライフバランス等、様々なライフイベントに柔軟に対応できるような知識や情報提供を行い、生徒同士のグループワークや発表の機会を持ち、多様なライフデザインに触れる機会を持ち、自分の将来のライフデザインを描けるような機会とする。</p> <p>【対象】市内全5中学校 3学年 【実施場所】各中学校 【実施内容】</p> <p>①ライフデザイン講話 仕事・結婚・妊娠・出産・子育て等様々な生き方や考え方があることについて、総合的な知識の習得ができるようにする。 講師)産婦人科医師/医療機関助産師 等 学校が希望する講師を選択 内容)思春期の性・心身の変化・仕事・結婚・妊娠・出産・育児 等 ライフデザインを描くために必要な知識や情報について</p> <p>②生徒同士のライフデザインに関するグループワーク 講話やこれまでの生活を通して自分の将来について考え、生徒同士で発表し合い、情報交換を行うことで、様々な将来像があることを知る機会とする。 講師)保健師/助産師 等 ※①②の実施日については、同日若しくは別日にするか学校が選択できるようにする。</p> <p>③意見交換結果の周知 講座で出された意見や感想をまとめ、広く周知し他の学校や学年の生徒等とも共有できるようにする。</p> <p>=各学校との事前事後連絡会= 実施に当たっては、各学校と内容や方法について協議する他、各学校の取り組み状況を共有し今後活かすために関係者で連絡会を実施する。</p>

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

- ・性教育の内容については、令和2年度より「命の安全をまもる教育」が文部科学省においても推進され、学校主体の取り組みへと移行していくことが考えられることから、本事業は令和6年度より、ライフデザインの講座を実施しており、今後は学校を主体として活動できるように支援していく。
- ・ライフデザインを発表形式とすることで、より生徒同士で発表し合い、情報交換を行うことで、様々な将来像があることを知る機会とする。R6年度は話し合い・発表の時間が短く、対象者が深く考えられない部分もあったため、R7年度はより時間をかけてグループワークに力を入れていく。
- ・ライフデザインを記入できる様子を配布し、紙に実際に書くことで、より自分の将来を考えられるように実施する。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	令和13年将来人口		人	50,000(R13年度)	51,780 (R6.11)
年少人口		人	5,900(R13)	5,203(R5)	
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.15(H30~R4)	
	婚姻件数		件	164(R4.1/1~12/31)	
	婚姻率			3.10(令和4年度・国の算定方式に倣って計算)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	実施校数	校	5	5(R6年度)
	②	参加者数	人	300	318(R6年度)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80	81.7(R6年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
④	ライフデザインについて考える機会となった者の割合	%	80	66.6	
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					